

茨城県立こども病院だより

令和3年9月30日 第52号



表紙写真：新生児救急車(ラッコ号)

指定管理者 社会福祉法人 医療 済生会支部茨城県済生会

自宅療養中の新型コロナ陽性児とその家族への支援

救急集中治療科長 本山 景一

今回の第5波、デルタ株の流行は小児医療にも大きな影響を与えました。当県でも子どもの感染例は大きく増えましたが、幸い子どもは軽症以下が多く、当県で中等症以上になった小児は第5波以降を含めても陽性児全体の0.8%のみでした。では、99%以上の小児は軽症以下なので小児医療は問題なく対応できているのかと言われるとそうではありません。そこには子ども特有の悩みがあります。

当たり前ですが子どもは1人では生活できません。どこで過ごすにも必ず養育者のサポートが必要です。たとえ軽症や無症状の子どもでも一人で自宅/宿泊施設療養を行う事は不可能で、療養環境は養育者の症状やサポート体制に大きく依存します。例えば、子どもは元気でも養育者が入院適応になった場合、子どもは即座にとっても困った状況に陥ります。このような「付き添い困難児」が発生した際の対応を当院では流行初期から行ってきました。

また家族全体で自宅療養を継続できる場合でも、子どもとその家族の支援がとても重要になります。流行初期から当院のスタッフでどのような自宅療養支援が出来るかを検討し、保健所と連携する形での自宅療養支援システムを作り上げました。保健所で健康観察を行う際に、子どもの体調や養育者の不安が強い場合に、小児科医が電話やアプリを介して遠隔診療を行うシステムです。最初は水戸市保健所と当院の連携から始め、徐々に全県と県内小児科医ネットワークがつながるような活動になってきました。結果として当県の陽性児の入院率は4%強のみで、95%の陽性児が自宅/宿泊施設療養を安全に完結することが出来ました。そのような活動の積み重ねによって、第5波の中でも小児の高次医療を維持することが出来ました。さらに当院を受診中のハイリスク児には、当院から手紙を差し上げて新型コロナワクチンの優先接種を行ったり、保護者も含めて家族全員でワクチン接種を受けるように勧奨したりして、基礎疾患を有する子ども達の保護にも努めています。

今後第6波が来るか否かは分かりませんが、ワクチン接種の対象外である幼小児が安心して自宅療養できる環境を整えておくことは大切です。こども病院では新型コロナウイルスに感染して自宅療養中の育児家庭を支援するために、次ページのパンフレットを作成し、保護者やフォローアップセンターが直接相談できる専用ダイヤルを開設しました。また必要な場合は、遠隔診療を行ったり、発熱者が安心して受診できる救急外来の整備にも力を入れています。もちろん今まで通り、他医療機関の先生方は、当院の患者相談室にご連絡を下さって結構です。これからも、皆さんと協力しながら、子ども達を新型コロナウイルスから守る活動を続けて参ります。



●●自宅療養を安心して過ごすために●●



お子さんが新型コロナウイルス検査陽性と知らされ、ご不安に感じていることと思います。ご自宅でお子さんのお世話をするために、まずは保護者の方々がご自分の心と体を健やかに保つことが必要です。そのためにパンフレットを作成しましたので、ご活用ください。

子どもの新型コロナウイルス感染症は、成人に比べて軽症であることが知られています。自宅療養から重症化し入院になることは非常にまれで、ほとんどのお子さんが自宅療養で治っています。お子さんに対しては、保健所と各病院が連携して対応に当たりますので、ご安心ください。

よくあるご相談

◎これからこの子はどうなってしまうのでしょうか

こどもが感染しても重症化することはまれです。気を付けたほうがよい症状について下表を参考にしてください。保健所や県からも毎日状態を確認する連絡が入ります。必要に応じて医師や看護師が電話をかけるシステムもあります。また、万が一症状が悪化してきた場合は、いつでも病院へ相談することができます。

表：気を付けたほうがよい症状



表情・外見	・顔色が悪い、唇が紫 ・いつもと様子が違う（笑わない、遊ばないなど）
呼吸	・呼吸数が多い ・横になれない、会話ができない
意識	・ぼーっとしている ・反応が乏しい
食事・水分	・水分が摂れない ・好きなものを食べない



◎子どもの状態が悪くなったら診てもらえるのですか

ご心配な症状があるときは以下の相談窓口にご相談ください。新型コロナの典型的な症状以外でも相談にのることができます。病院と保健所は連携していますので、必要に応じて受診、入院など、適切な医療を受けることができます。

◎養育者の体調が悪くなった時に、自分やこの子はどうなってしまうのですか

まずはご自分の療養に専念してください。その時にお子さんだけが取り残されることのないよう、保健所と病院間で協力して対応しますので、無理をせず、早めに相談してください。

◎保育園や幼稚園・学校にはいつから行っていいですか

目安として、症状が治まって72時間経過、かつ発症から10日を過ぎたら（無症状者は検査当日から10日）とされています。詳細につきましては、保健所から連絡が入ります。

* 自宅療養中の症状で困ったときは以下にご相談ください *

こども病院内電話相談ダイヤル：新型コロナ陽性児専用 ●●●-●●●●-●●●●

毎日 9時～12時、14時～21時

*この電話は、医療機関でメディカルチェックを受け、新型コロナ陽性が確定しているお子さん専用の相談電話です。新型コロナ陽性児以外のご相談は、# 8000 またはかかりつけ病院へおかけください。
また、成人で新型コロナ陽性の方の相談は受けておりません。



新しく入った医師をご紹介します

石山 ゆり (小児総合診療科医師)

4月より後期研修医としてお世話になることになりました石山ゆりと申します。杏林大学を卒業後、筑波大学附属病院で初期研修を行いました。茨城県立こども病院で小児科として経験を積み、茨城県の医療に少しでも貢献できたら幸いです。まだわからないことが多く周りに迷惑をおかけすることも多々ありますが日々精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

埜 恭子 (新生児科医師)

4月より後期研修医として勤務させて頂くことになりました。
いろいろな方のご指導をいただきながら、少しでも早く、茨城県の医療そして皆様のお役に立てるよう努力していきます。どうぞ宜しくお願い致します。

児玉 應浩 (小児総合診療科医師)

4月より後期研修医としてお世話になっております。児玉應浩と申します。筑波大学を卒業後、水戸済生会総合病院で初期研修を行いました。「こども」中心の医療を行う当院での研修は充実した日々です。茨城県の医療にお力になれるよう日々精進していく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

堀口 比奈子 (小児外科医師)

今年の4月より小児外科医として勤務させていただくこととなりました堀口比奈子と申します。出身は神奈川県ですが、大学から茨城に来て、その後は初期研修、後期研修と引き続き茨城で過ごしております。今回初めてこども病院で勤務させていただけることとなり、大変嬉しく思っております。治療を受けるお子さん達やご家族が笑顔で過ごせるよう、日々精進して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

昨年度もたくさんのご寄付を賜り
厚く御礼申し上げます。

当院では、企業・団体や個人の皆様に善意のご寄付をお願いし、子どもたちのための図書・玩具の購入や病院内学級の整備など病児の療養環境の向上を図ると共に、健康保険外の先端医療の推進を行う活動を積極的に展開しております。

2020年度寄付金一覧

寄付者名	金額
株式会社双葉電機製作所 様	200,000円
KDDI株式会社 様	100,000円
株式会社ヤマイチ 様	1,000,000円
横浜幸銀信用組合 様	1,000,000円
外 個人8名	919,000円

2020年度寄付物品一覧

寄付者名	寄贈品
水戸東ロータリークラブ 様	図書 96冊
カフベンテック株式会社 様	フィンガーパルスオキシメーター 5個 小児用クリッププローブ 3個
骨髄バンクを支援するいばらきの会 様	ぬいぐるみ 130個
がんの子どもを守る会 様	玩具 88個
Lucaemma 様	バルーンアートセット 1体
日本出版販売株式会社 様 日本児童図書出版協会 様	図書 122冊 (児童図書 絵本)
アフラック 様	My Special Duck アヒル型ロボット 5体
日本小児総合医療施設協議会 様	こいのぼり一式
特定非営利活動法人 パルサポートキッズの会 様	ぬくもりの食事 120セット (スープ2個 リゾット2個)
中山商事株式会社 様	オリジナル文具セット 130セット (布バッグ 色鉛筆 めりえ)
外 企業 4件、個人 8名	(車椅子 図書 玩具 等)

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、様々な方からご寄付をいただきました。
温かいご支援に感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症関連 寄付物品一覧

寄付者名	寄贈品
タビーコーポレーション株式会社 (日本マクドナルド株式会社フランチャイジー)	マクドナルド1セット無料券 550枚
株式会社ゼンショーホールディングス	プレミアムSukipass 500枚
メディアバンク株式会社	ビオレリフレッシュシート 240個
株式会社コーセー	KOSE化粧品セット 400セット (雪肌精スキンケア Viseeメイクアップ)
ネスレ日本株式会社	キットカットチョコレート 432本 (3種類×144本)
アサヒ飲料株式会社	エナジードリンク480本



当院では皆様に広く善意のご寄付をお願いしております。
皆様の格別のご理解とご支援をお願いいたします。



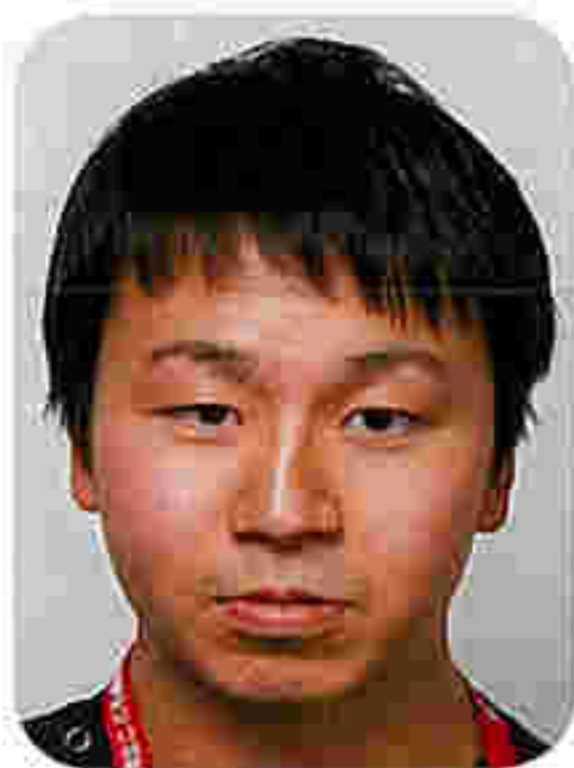
窓口

経営企画課
寄付担当

(TEL) 029-254-1151 内線 9213
(E-Mail) ich-kifu@ibaraki-kodomo.com

医療的ケア児外来を開設しました

小児総合診療科 塚田 裕伍



2020年10月より小児外科、小児科、看護師やMSWを含む多職種がチームを組んで診療を行う医療的ケア児外来を開設しました。医療的ケア度の高い子どもたちが自宅に退院し生活する機会が増え、その医療に対応するためには多職種間の連携が必要と考えたからです。

医療的ケアを必要とするお子さんは、小児神経科、小児総合診療科や小児外科などの複数の科を通院していることが多く、そういった現状の中で、お子さんの全体像を十分に医療者間で把握できていないことがあるのではないかと考えていました。

医療的ケア児と健常児が成長する喜びはどのお子さんでも変わりません。しかし、前者の場合、成長するにつれて、摂食、気道の問題や側弯症などに対して医療的な介入が必要になる場面が出てきます。その結果、日常生活の中で行う医療的ケアが増えます。場合によっては外科治療も行います。それは、お子さんにとって人生の大きな分岐点であり、医療者が十分な情報提供を行うことで、家族はよりよい選択を選ぶことができます。

私事ではありますが、1歳になってから医療的ケア児の弟と生活しそれが当たり前の日常でした。小学校にあがる頃に経口摂取ができなくなって経管栄養になり弟が19歳になったときに呼吸が不安定で気管切開、在宅酸素が必要となりました。子供ながらに両親が重大な決断を迫られたことを感じていました。今となってそのことが理解できるようになりました。

また、医療的介入を行ったことで良い面もあれば、複数の科に関わるが必要となった結果、家族負担が増えてしまっているのではと感じることもありました。その為、お子さんやご家族のニーズを知り最大限に答える方法はないかと院内でこのチームを立ち上げ、何度も話し合いを行い、昨年10月より1度の診察で小児外科と内科が同時に診療を行うスタイルの外来を新設しました。1人の患者さんに30分とゆっくり時間をかけてお話することができます。さらに、事前に看護師が日々のスケジュールや困り事を問診してくれており円滑に診療を進めることができます。

そして、この外来を作ったもう一つの理由は成人移行の支援です。どのお子さんもいずれ成長して成人になる、それは医療的ケア児にとっても同じです。高度医療が可能となった近年、18歳以上の医療的ケアを必要とするお子さんが増えています。成人疾病に対する治療が必要になったときの事や将来のビジョンの相談をしながら成人移行を考えていく必要があります。これまで慣れ親しんだ場所を卒業し、成人医療機関に行くことは家族にとっても負担になるかもしれません。小児病院とご家族が成人移行について相談できる時間を十分に持ち、必要な丈夫をしっかりと伝えることが大事だと考えます。また、同時に、私たちこども病院と成人医療機関が情報交換などの交流の場をもち連携していくことが必要と考えます。

今後、この医療的ケア児外来や多職種チームを通して、お子さんとご家族にとってよりよい医療が何かを一緒に考え、ともに成長しながら笑顔で成人医療機関に送り出せることを目指していきます。



企画
編集

茨城県立こども病院広報委員会

〒311-4145 水戸市双葉台 3-3-1
TEL 029-254-1151 FAX 029-254-2382
URL <http://www.ibaraki-kodomo.com/>

発行
責任者

茨城県立こども病院

病院長 須磨崎 亮